



■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v3.0)

評価結果

| 1-1 建物概要 | | 1-2 外観 | |
|----------|-----------------------|--------|-----------------|
| 建物名称 | SOSiLA柏新築工事 | 階数 | 地上4F |
| 建設地 | 千葉県柏市 | 構造 | RC造 |
| 用途地域 | 工業専用地域、法第22条区域 | 平均居住人員 | 540 人 |
| 地域区分 | 6地域 | 年間使用時間 | 8,760 時間/年(想定値) |
| 建物用途 | 事務所,工場, | 評価の段階 | 実施設計段階評価 |
| 竣工年 | 2022年2月 予定 | 評価の実施日 | 2021年12月23日 |
| 敷地面積 | 35,361 m ² | 作成者 | 武田 裕 |
| 建築面積 | 22,376 m ² | 確認日 | 201●年●月●日 |
| 延床面積 | 81,548 m ² | 確認者 | 武田 裕 |



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.5

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 **Qのスコア = 3.4**

Q1 室内環境

Q1のスコア = 0.0

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.6

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 3.2

LR 環境負荷低減性 **LRのスコア = 3.4**

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.2

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.5

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.5

| 3 設計上の配慮事項 | | その他 |
|---|---|---|
| 総合 物流倉庫として最大限の効率を得る為フレキシビリティのある空間を確保し、外壁に断熱効果の高い金属サンドイッチパネルを使用して空調負荷を軽減する他、照明にもLEDを用いるなど省エネルギー性に配慮した。さらに、生物環境の保全を考慮した植栽や防犯・光害・騒音対策を両立させた計画を通し | | 特になし |
| Q1 室内環境 対象外 | Q2 サービス性能 空間の形状・自由さについてゆとりがある計画としている。また、給水管等の更新必要間隔が長いものを採用。 | Q3 室外環境(敷地内) 広域的な観点から景観上の特性を踏まえ、地域の景観に与える影響に留意している。 |
| LR1 エネルギー LED照明など高効率設備の採用により省エネ化を図っている。 | LR2 資源・マテリアル 省水型便器により節水に配慮した設備とし、内装にリサイクル材を使用することで省資源化を図っている。 | LR3 敷地外環境 空調・給湯に電気熱源を採用し燃焼機器を使用せず、敷地内に燃焼機器を使用しないことで、大気汚染物質を全く発生しない。 |

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

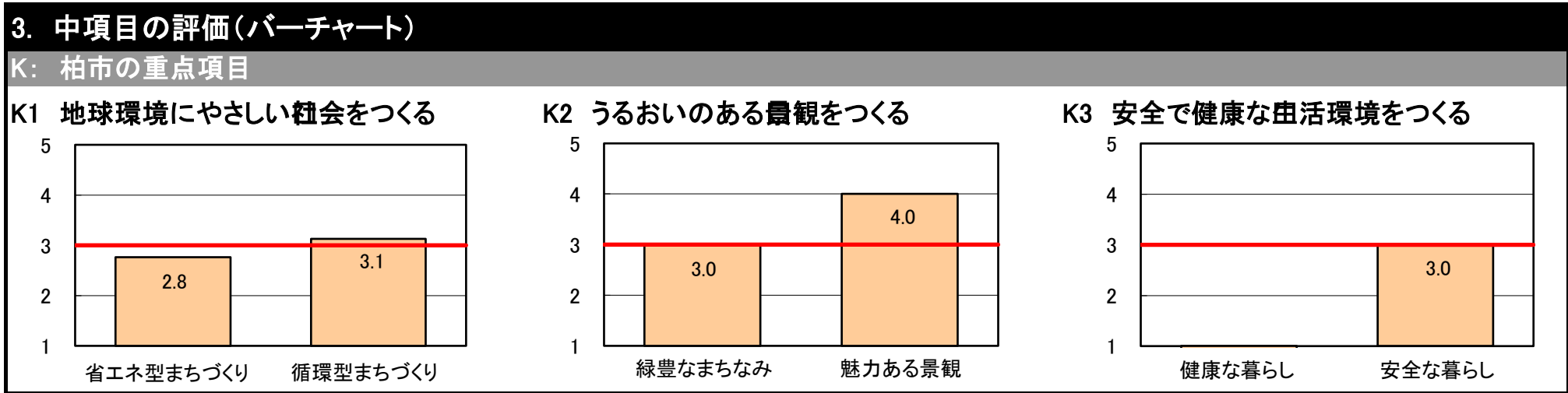


評価結果

■使用評価マニュアルCASBEE-建築(新築)2016年版 ■使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v3.0)

| 1 建物概要 | | | |
|--------|-------------|-------------------|---------|
| 建物名称 | SOSiLA柏新築工事 | 建築物の環境効率 (BEEランク) | A ★★★★★ |

| 2 重点項目への取組み度 | | | |
|---|----------------|------------|------------|
| 重点項目 | 取組み度 ※ (得点/満点) | | 評価結果 |
| K1 地球環境にやさしい社会をつくる | 2.9 / 5.0 | | がんばろう |
| K2 うるおいのある景観をつくる | 3.5 / 5.0 | | ふつう |
| K3 安全で健康な生活環境をつくる | 3.0 / 5.0 | | ふつう |
| ※ 対応するCASBEEのスコアと主な指標を元に、独自に設定された条件で評価をします。(左記は評価結果の凡例) | | すばらしい 4点以上 | ふつう 3点以上 |
| | | | がんばろう 3点未満 |



| 4. 設計上の配慮事項 | |
|---|---|
| <p>K1 地球環境にやさしい社会をつくる</p> <ul style="list-style-type: none"> 断熱性能を高めて省エネ型まちづくりに配慮する 廃棄物保管スペースの確保や分別回収容器の設置により循環型まちづくりに配慮する | <p>スコアシート</p> <ol style="list-style-type: none"> 省エネ型まちづくり <ul style="list-style-type: none"> 1.1 建物の熱負荷抑制(LR1-1) スコア 1.0 1.2 自然エネルギーの利用(LR1-2) スコア 3.0 1.3 設備システムの高効率化(LR1-3) スコア 4.2 1.4 効率的な運用(LR1-4) スコア 3.0 循環型まちづくり <ul style="list-style-type: none"> 2.1 雨水利用・雑排水再利用(LR2-1.1) スコア 3.0 2.2 雨水排水負荷抑制(LR3-2.3.1) スコア 3.0 2.3 非再生性資源の使用量削減(LR2-2) スコア 3.5 2.4 廃棄物処理負荷抑制(LR3-2.3.4) スコア 3.0 |
| <p>K2 うるおいのある景観をつくる</p> <ul style="list-style-type: none"> 緑地を可能な限り豊富に設け敷地内のみどり豊かなまちなみに配慮する 緑地による良好な景観を形成することで魅力ある景観に配慮する | <p>スコアシート</p> <ol style="list-style-type: none"> 緑豊かなまちなみ <ul style="list-style-type: none"> 1.1 生物資源の保全と創出(Q3-1) スコア 3.0 魅力ある景観 <ul style="list-style-type: none"> 2.1 まちなみ・景観への配慮(Q3-2) スコア 4.0 2.2 水空間の創出 設置の有無 - 2.3 道路沿いの緑化 緑視率の確保 - |
| <p>K3 安全で健康な生活環境をつくる</p> <ul style="list-style-type: none"> バリアフリー新法の円滑化基準を満足することにより、健康な暮らしに配慮する | <p>スコアシート</p> <ol style="list-style-type: none"> 健康な暮らし <ul style="list-style-type: none"> 1.1 空気質環境(Q1-4) スコア 対象外 1.2 バリアフリー計画(Q2-1.1.3) スコア 対象外 安全な暮らし <ul style="list-style-type: none"> 2.1 耐震・免震(Q2-2.1) スコア 3.0 2.2 防犯対策 防犯性の配慮 - |